

2024年7月27日[土]

開場 12:30 / 開演 13:30

会場：**R's ART COURT** (労音大久保会館)  
東京都新宿区大久保 1-9-10

入場料：前売り 2,500 円 / 当日 3,000 円 / 中学生～18 歳 1,500 円  
チケット申し込み：nagayamacf@gmail.com

ホームページや Face book でも随時情報を提供しています

ホームページ  
<https://nagayama-chicos.com/>



Face book  
<https://www.facebook.com/nagayamakodomo/>



## Nから子どもたちへ

### program

- コンサート 『Carmen Maki × 桜井芳樹 DUO』  
カルメン・マキ / 桜井芳樹
- 講演 『「死の不平等」が露呈している世界の中で』  
太田昌国
- 映画 『ペルーの働く子どもたち物語 vol.16』  
NGO クシ・punk協会
- 朗読 『パチャママのとりかえっこ』  
水野慶子 / 関島岳郎

ペルーの

働く子どもたちへ

第21回 永山子ども基金 チャリティトーク&コンサート



主催：永山子ども基金  
共催：公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本 / 神奈川シティユニオン /  
特定非営利活動法人 CrimelInfo / 認定 NPO 法人国際子ども権利センター /  
一般社団法人若草プロジェクト / NGO クシ・punk協会 / パチャママ基金  
協賛：NGO ピースポート

画：井江春代

は

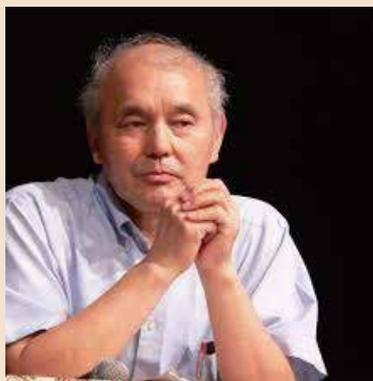
# コンサート 『Carmen Maki × 桜井芳樹 DUO』

## カルメン・マキ

1969年「時には母のない子のように」で歌手デビュー、紅白歌合戦に出場。1972年、カルメン・マキ&OZ結成。1stアルバム『カルメン・マキ&OZ』は日本のロックアルバムとして初の大ヒット。以降、ソロとして多くの音源制作やライブ活動を行い、2000年以降は様々なフィールドのミュージシャンとの活動を展開。デビュー55年を迎えた現在も様々な試みと精力的な活動を続けている。

## 桜井芳樹

音楽家・ギタリスト。ロンサム・ストリングス、ホープ&マッカラズ主宰。他にストラダ、デッドマンズ・リカーのメンバー、又シカラムータに参加。他に小松亮太、カルメン・マキ、Jagatara2020、浮（米山ミサ）、スーマー、等。その他レコーディング、プロデュース、CM音楽、映画音楽、劇伴、ゲーム音楽、執筆、と活動は多岐にわたる。最近では2020年公開の映画『河童の女』（監督 辻野正樹）の音楽を担当。



## 講演 『「死の不平等」が露呈している世界の中で』

### 太田昌国

編集者／民族問題・人権問題研究家。編集者として人文書の企画・編集に携わる傍ら、民族問題・南北問題等についての発言を続けており、死刑廃止運動にも深く関わっている。著書に『増補決定版「拉致」異論』（現代書館）、『暴力批判論』（太田出版）、『チェ・ゲバラ プレイバック』（現代企画室）『【極私的】60年代追憶』（インパクト出版）などがある。



## 朗読 『パチャママのとりかえっこ』



### 朗読：水野慶子

役者。1982年～93年、テント芝居『風の旅団』に参加。以後、『独火星』などに出演。金時鐘 詩の朗読ライブ『ここより遠くよりこのここに近く』（2008年）『四月よ、遠い日よ』（2011年）に朗読で出演。2012年『第9回永山子ども基金チャリティートーク&コンサート』より朗読で出演。

### 伴奏：関島岳郎

1989年に篠田昌己、中尾勲とコンボステラを結成、篠田の急逝までの3年間という短い活動期間だったが、音楽シーンに大きな印象を残した。以後、ストラダ、栗コーダーカルテット、こまっちゃんクレスマ、シカラムータなど多数のバンドに参加しつつ、多くのレコーディングやライブに参加。また、映画、ドキュメンタリー、演劇などの音楽も手がけている。

### 原作：井江春代

1923年鳥取県生まれ。女子美術大学卒。児童出版の仕事に就く。絵本『かえるのけろ』で第13回小学館絵画賞受賞。73年南米を訪れて以来、ペルーなどに伝わる神話や民話をもとに独自のストーリーや作品を生み出し、1986～91年パチャママシリーズ全6冊（フレーベル館）。2011年5月死去。

## 映画

## 『ペルーの働く子どもたち物語 vol.16』

制作：NGO クシ・フンク協会

監督・総指揮：義井豊



会場地図 R's ART COURT 東京都新宿区大久保 1-9-10

